

## IBM MaaS360 (SaaS)

本「サービス記述書」は IBM がお客様に提供する「クラウド・サービス」について規定するものです。お客様とは、会社、その許可ユーザーおよび「クラウド・サービス」の受領者をいいます。適用される「見積書」および「証書 (PoE)」は、別個の「取引文書」として提供されます。

### 1. クラウド・サービス

MaaS360 は、iOS、Android、Windows および Blackberry のオペレーティング・システムを活用している、現存するモバイル・デバイスのエンドツーエンド管理のための必須機能をすべて備える使い勝手のよいクラウド・プラットフォームです。以下は、「クラウド・サービス」オフリングについての簡単な説明です。

#### 1.1 IBM MaaS360 Mobile Device Management (SaaS) および IBM MaaS360 Mobile Device Management (SaaS) Step up for existing customers

コアとなるモビリティ・デバイス管理 (MDM) 機能には、デバイス登録、構成、セキュリティ・ポリシー管理およびデバイス・アクション (メッセージ送信、位置指定、ロック、ワイプなど) が含まれます。「拡張 MDM」機能には、自動遵守規則、個人所有持込み機器 (BYOD) プライバシー設定、「モビリティ・インテリジェンス」ダッシュボードおよびレポート機能が含まれます。

#### 1.2 IBM MaaS360 Mobile Application Management (SaaS) および IBM MaaS360 Mobile Application Management (SaaS) Step up for existing customers

MaaS360 Mobile Application Management は、アプリケーションを追加し、MaaS360 によって管理されるサポート・デバイスにそれらを配布する機能を提供します。これには MaaS360 App Catalog (ユーザーがアプリケーションを表示、インストール、更新・管理時のアラートを受けられるオンデバイス・アプリケーション) が含まれます。

#### 1.3 IBM MaaS360 Mobile Application Security (SaaS) および IBM MaaS360 Mobile Application Security (SaaS) Step up for existing customers

MaaS360 Mobile Application Security は、開発中に WorkPlace SDK を使用するエンタープライズ・アプリケーションに対し追加のデータ保護を提供し、iOS アプリケーションに対しては、アプリケーションのアップロード (.ipa)、プロファイルのプロビジョニングおよび自動的に統合するための認証署名を行います。Mobile Application Security は、アプリケーションを Productivity Suite と統合します。これにより、シングル・サインオン、Mobile Enterprise Gateway を通じたイントラネット・アクセスおよびデータ・セキュリティ設定の実施が可能になります。

#### 1.4 IBM MaaS360 Gateway for Apps (SaaS) and IBM MaaS360 Gateway for Apps (SaaS) Step up for existing customers

MaaS360 Gateway for Apps は、フルデバイス VPN 接続を必要とすることなく、エンタープライズ・ネットワーク外部のユーザーに内部アプリケーション・リソースに対するシームレスなアクセス・パスを提供します。

#### 1.5 IBM MaaS360 Mobile Content Management (SaaS) および IBM MaaS360 Mobile Content Management (SaaS) Step up for existing customers

MaaS360 Mobile Content Management により、管理者が IBM MaaS360 Mobile Device Management によって管理されるサポート対象デバイスに文書を追加、配布することができます。IBM MaaS360 Doc Catalogue (ユーザーが文書にアクセスし、これを表示および共有するための保護された簡単な方法を提供する、パスワード保護されたオンデバイス・コンテナ) が含まれます。これには、SharePoint、Box および Google ドライブなどの分散型コンテンツおよびリポジトリに対するシームレスなアクセスを含みます。MaaS360 Gateway for Documents により、プライベート SharePoint および Windows ファイル共有へのアクセスが可能になります。MaaS360 によって管理される文書について、バージョン管理、監査、ならびにデータ・ロス防止 (DLP) ポリシー・オプションによる保護 (認証要求、コピー/貼り付け機能の制限、および他のアプリケーションでのオープンまたは共有に対するブロックなど) を行うことができます。

## 1.6 IBM MaaS360 Mobile Document Sync (SaaS) および IBM MaaS360 Mobile Document Sync (SaaS) Step up for existing customers

MaaS360 Mobile Document Sync は、管理されたモバイル・デバイス全体でユーザー・コンテンツを同期させる機能をユーザーに提供します。管理者は、デバイス全体のユーザー・コンテンツについて、ポリシー（コピー/貼り付け機能の制限、および他のアプリケーションでのコンテンツのオープンまたは共有に対するブロックなど）を設定するよう確認することができます。コンテンツはクラウドおよびデバイスの両方で保護された方法で保管され、MaaS360 Doc Catalogue によってのみアクセスすることができます。

## 1.7 IBM MaaS360 Mobile Document Editor (SaaS) および IBM MaaS360 Mobile Document Editor (SaaS) Step up for existing customers

MaaS360 Mobile Document Editor は、ユーザーが外出先でビジネス文書を扱うことができる強力なオフィス・セットです。MaaS360 Mobile Document Editor は、次の機能を提供します。

- .DOC、.PPT および .XLS ファイルの作成および編集機能
- スライドのプレゼンテーション・モード機能
- MaaS360 for iOS からの電子メール添付ファイルおよびその他のファイルの作業の円滑化を図る機能

## 1.8 IBM MaaS360 Gateway for Documents (SaaS) および IBM MaaS360 Gateway for Documents (SaaS) Step up for existing customers

MaaS360 Gateway for Documents により、組織は MaaS360 Mobile Content Management を用いて、フルデバイス VPN 接続を必要とすることなく、エンタープライズ・ネットワーク外のデバイスに、内部「接続」サイト、SharePoint サイト、Windows ファイル共有およびその他のファイル・ストアに対するシームレスなアクセスを追加提供することができます。MaaS360 Gateway for Documents を利用するには、MaaS360 Mobile Content Management を購入する必要があります。iOS 5.0 および Android 4.0 以上をサポートしています。

## 1.9 IBM MaaS360 Email Management (SaaS) および IBM MaaS360 Email Management (SaaS) Step up for existing customers

MaaS360 Email Management には、Microsoft Exchange ActiveSync および Lotus Traveler をサポートする主要な機能が含まれます。

- Exchange ActiveSync: ActiveSync プロトコルにより Microsoft Exchange に接続するモバイル・デバイスのサポートを提供します。これには、デバイスの構成、ActiveSync ポリシー（パスワード、ブロックまたは電子メールへのアクセス許可）の作成/実施、デバイス・アクション（ロック、ワイプおよびデバイス属性に関する詳細レポートなど）の設定など、コアとなるモバイル・デバイス管理機能が含まれます。
- Lotus Traveler: Lotus Traveler プロトコルにより IBM Lotus Notes® に接続するモバイル・デバイスのサポートを提供します。これには、デバイスの構成、デバイスのブロックまたは許可、パスワード・ポリシーの実施、デバイスのワイプ、およびデバイス属性に関する詳細レポートの作成を行う機能が含まれます。

## 1.10 IBM MaaS360 Secure Mobile Browser (SaaS) および IBM MaaS360 Secure Mobile Browser (SaaS) Step up for existing customers

MaaS360 Browser は、ユーザーが必ず、多くのコンテンツ・カテゴリー（ソーシャル・ネットワーキング、アダルト・サイトまたはマルウェア・サイトなど）に基づいて承認された Web コンテンツにのみアクセスできるようにするために、Web サイト・フィルタリングおよびセキュリティー・ポリシーを定義することによって、企業内イントラネット・サイトへのアクセスおよびコンテンツ・ポリシー遵守の実施を可能にするフル機能の Web ブラウザーです。MobileFirst Protect Devices と組み合わせることで、アプリケーション・ポリシーまたはブラックリストのいずれかによりネイティブおよび第三者の Web ブラウザーを無効にする機能があります。Web サイトのホワイトリストからの除外、クッキーの制限、コピー/貼り付けおよび印刷機能、ならびにキオスク・モードの有効化が可能です。

### **1.11 IBM MaaS360 Gateway for Browser (SaaS) および IBM MaaS360 Gateway for Browser (SaaS) Step up for existing customers**

MaaS360 Gateway for Browser によって、サポート対象デバイスは、フルデバイス・レベルの VPN 接続を必要とすることなく、承認済みの内部 Web サイトにアクセスすることができます。

### **1.12 IBM MaaS360 for BlackBerry (SaaS) および IBM MaaS360 for BlackBerry (SaaS) Step up for existing customers**

BlackBerry API を利用して BlackBerry Enterprise Server (BES) に接続されたモバイル・デバイスのサポートを提供します。これには、メッセージ送信、パスコードのリセット、BES ポリシーの割り当ておよびワイプ、ならびにデバイス属性に関する詳細レポート機能などのリモート・アクションが含まれます。MaaS360 Cloud Extender をインストールする必要があります。BES 5.0 により MaaS360 で表示または管理されるデバイスでのみ利用可能です。

### **1.13 IBM MaaS360 Mobile Expense Management (SaaS) および IBM MaaS360 Mobile Expense Management (SaaS) Step up for existing customers**

MaaS360 Mobile Expense Management によって、管理者がデータ利用ポリシーを作成し、それらを MaaS360 によって管理されるサポート・デバイスに割り当てることができ、また、これらのポリシーをデバイス、グループまたはグローバル・レベルで割り当て、ネットワークおよびローミング・データ利用の両方についてアラートしきい値およびメッセージ送信の構成を行うことができます。

### **1.14 IBM MaaS360 Management Suite (SaaS) および IBM MaaS360 Management Suite (SaaS) Step up for existing IBM MaaS360 customers**

MaaS360 Mobile Device Management、MaaS360 Mobile Application Management、MaaS360 Content Service および MaaS360 Mobile Expense Management を含むパッケージ製品またはバンドル製品。

### **1.15 IBM MaaS360 Productivity Suite (SaaS) および IBM MaaS360 Productivity Suite (SaaS) Step up for existing customers**

MaaS360 Secure Mobile Mail、MaaS360 Mobile Application Management、MaaS360 Mobile Application Security、MaaS360 Content Service、および MaaS360 Secure Mobile Browser を含むパッケージ製品またはバンドル製品。

### **1.16 IBM MaaS360 Secure Mobile Mail (SaaS) および IBM MaaS360 Secure Mobile Mail (SaaS) Step up for existing customers**

MaaS360 Secure Mobile Mail は、コンテンツを他のアプリケーションに転送または移動する機能を制限することによって電子メールおよび添付ファイルを管理し、データ漏洩を防ぐ機能、認証の実施、切り取り/コピー/貼り付けの制限、電子メール添付ファイルを表示のみにロックする機能により、ユーザーが電子メール、カレンダーおよび連絡先にアクセスし、これらを管理するための個別のオフィス生産性アプリケーションを提供します。

### **1.17 IBM MaaS360 Gateway Suite (SaaS) および IBM MaaS360 Gateway Suite (SaaS) Step up for existing customers**

MaaS360 Gateway Suite により、iOS および Android でサポートされるアプリケーションがシームレスに企業内ネットワークのリソースと通信することができます。

### **1.18 IBM MaaS360 Content Suite (SaaS) および IBM MaaS360 Content Suite (SaaS) Step up for existing customers**

MaaS360 Mobile Content Management、MaaS360 Mobile Document Editor、および MaaS360 Mobile Document Sync を含むパッケージ製品またはバンドル製品。

### **1.19 IBM MaaS360 Mobile Threat Management (SaaS)**

MaaS360 Mobile Threat Management は、モバイル・マルウェア検出および最新の改造/ルート検出により強化されたモバイル・セキュリティーを提供します。MaaS360 Mobile Threat Management により、お客様は検出されたマルウェアおよびその他のセキュリティー脆弱性についてコンプライアンス・ポリシーを設定および管理することができます。

## 1.20 IBM MaaS360 Content Service (SaaS)

MaaS360 Content Service (SaaS) により、ユーザーは MaaS360 Content Distribution システムにアプリケーション・パッケージおよび文書をアップロードすることができます。

IBM MaaS360 ではインスタンス毎に 1GB のストレージを提供します。IBM MaaS360 は、帯域幅の共有プールとして、毎年、デバイス当たり 6 GB の帯域幅使用率を提供します。帯域幅プール全体をすべてのデバイスで共有します。この基本ストレージおよび帯域幅の割り振りは、購入した製品バンドルや行項目の数に関係なく、増えることはありません。お客様は、提供された基本量に関し、使用または要求された量に対して追加のストレージや帯域幅を購入する必要があります。

## 1.21 IBM MaaS360 Content Service Storage (SaaS)

MaaS360 Content Service Storage (SaaS) により、ユーザーは MaaS360 Content Service (SaaS) 用に利用可能な総データ・ストレージ量を購入することができます。

## 1.22 IBM MaaS360 Content Service Bandwidth (SaaS)

MaaS360 Content Service Bandwidth (SaaS) により、ユーザーは MaaS360 Content Service (SaaS) 用に利用可能な帯域幅の総量を購入することができます。

## 1.23 IBM MaaS360 Professional (SaaS)

中小規模ビジネスに、リモート操作によるスマートフォンおよびタブレットの設定、セキュリティー・ポリシーの強化、アプリケーションおよび文書の配布、企業デバイスおよび個人デバイスのデータ保護を行うための迅速で簡単な方法を提供します。お客様の事業にとって適切なモバイル管理機能に、素早く、容易にかつ手頃な料金でアクセスすることができます。

## 1.24 IBM MaaS360 Laptop Management (SaaS)

OS X および Windows PC ベースのデバイスのほか、スマートフォンおよびタブレットについて登録、設定、管理、および報告を行う機能をお客様に提供します。組織は、同じ MaaS360 管理コンソール内で、企業所有デバイスおよび従業員の個人所有デバイスの両方にわたる一貫したセキュリティー・ポリシーおよびプロフィールを維持することができます。

### 1.24.1 Windows

MaaS360 Laptop Management (SaaS) for Windows-based PC は、ハードウェア、オペレーティング・システムおよびソフトウェアの情報に関する無線での登録およびインベントリ管理レポートを提供します。エンドポイント・セキュリティー・レポート・モジュールは、欠落しているオペレーティング・システム・パッチに加えて、アンチウイルス、バックアップ/リカバリー、データ暗号化、個人用ファイアウォールなど、お客様提供アプリケーションについて対話式のレポートおよびデータ分析を提供します。データ保護モジュールは、データ暗号化、データ漏えい防止、バックアップ/リカバリーおよびその他統合アプリケーションを含むセキュリティー・サービスについて対話式のレポートおよび分析を提供します。Windows XP SP3、Windows Vista、Windows 7、Windows 8+ および Windows 8+ Pro (該当する場合は 32 ビットおよび 64 ビットを含む) をサポートします。

デバイス操作には、以下が含まれます。

- デバイスに対するメッセージ送信
- デバイスのロック
- デバイスの検出 (MaaS360 Laptop Location が必要です。)
- サービスの停止/始動/再始動
- シャットダウン/再起動
- ハード・ディスクのワイプ
- パッチ設定の構成
- ソフトウェアの配布

## 1.24.2 Mac OS X

MaaS360 Laptop Management (SaaS) for Mac OS X は、ハードウェア、オペレーティング・システムおよびソフトウェアの情報に関する無線での登録およびインベントリ管理レポートを提供します。エンドポイント・セキュリティ・レポート・モジュールは、欠落しているオペレーティング・システム・パッチに加えて、アンチウイルス、バックアップ/リカバリー、データ暗号化、個人用ファイアウォールなど、お客様提供アプリケーションについて対話式のレポートおよびデータ分析を提供します。データ保護モジュールは、データ暗号化を含むデータ・セキュリティ・サービスについて対話式のレポートおよび分析を提供します。構成管理モジュールは、多くのデバイスおよびユーザー設定 (パスワード、電子メール、VPN および Wi-Fi を含む) のリモート管理を提供します。Mac OS X バージョン 10.7.3 以降をサポートします。

デバイス操作には、以下が含まれます。

- デバイスのロック
- ハード・ディスクのワイプ
- デバイス・ポリシーの変更

## 1.25 IBM MaaS360 Laptop Location (SaaS)

MaaS360 Laptop Location (SaaS) により、サポート対象のラップトップおよびタブレットを検出することができます。MaaS360 は、Wi-Fi ロケーションまたは IP アドレス座標を報告し、このデータから容易に見分けのつくアドレスに変換します。デバイスがネットワークに接続されているときに、最新のロケーションを検索することができます。MaaS360 は、時間とともに報告されたロケーションを保存しておくため、ロケーションの履歴を確認することができます。MaaS360 Laptop Management (SaaS) for Windows が必要です。Windows XP SP3、Windows Vista、Windows 7、Windows 8+ および Windows 8+ Pro (該当する場合は 32 ビットおよび 64 ビットを含む) をサポートします。

## 1.26 IBM MaaS360 Laptop Lifecycle Management (SaaS)

MaaS360 Laptop Management (SaaS) オフラインの機能を提供するとともに、以下の機能を追加します。

- MaaS360 Content Service (SaaS) プラットフォームにパッケージをアップロードし、デバイスに対するペイロード配布の予定を設定することができます。これは、MaaS360 Laptop Management (SaaS) service for Microsoft Windows によって管理されます。インストール指示およびデバイス、グループまたはグローバル・レベルのターゲティングなど、配布のすべてについて制御できます。すべてのパッケージングおよびインストール・ファイルの作成は、お客様の責任となります。IBM は、インストール・パッケージの作成についてサポートを提供しません。

## 1.27 IBM MaaS360 Laptop Security (SaaS)

同じ管理コンソール内で、企業所有デバイスおよび従業員の個人所有デバイスの両方にわたって一貫したセキュリティ・ポリシーおよびプロファイルを維持する機能を組織に提供します。

## 1.28 IBM MaaS360 Essentials Suite (SaaS)

このスイートにより、お客様はお客様の組織で利用するモバイル・デバイスとアプリケーションを確認したり、制御したりできます。このスイートは、企業で利用するモバイル・デバイス、アプリケーションおよび通信料管理を単一画面にて提供します。

## 1.29 IBM MaaS360 Deluxe Suite (SaaS)

このスイートには MaaS360 Essentials Suite の機能のすべてが含まれています。また、セキュリティ機能の充実したユーザー向けの別個のオフィス生産アプリケーションを追加して、企業で利用している電子メール、カレンダー、連絡帳と連携し、それらを管理します。

## 1.30 IBM MaaS360 Premier Suite (SaaS)

このスイートには MaaS360 Deluxe Suite の機能のすべてが含まれています。また、モバイル・アプリケーション・セキュリティ、セキュア・モバイル・ブラウザおよびゲートウェイ、ならびにモバイル・コンテンツ管理を追加します。

### 1.31 IBM MaaS360 Enterprise Suite (SaaS)

このスイートには MaaS360 Premier Suite の機能のすべてが含まれています。また、モバイルの脅威の管理、文書編集機能、文書同期機能を追加します。

## 2. セキュリティーの内容

「クラウド・サービス」は、IBM の「Data Security and Privacy Principles for IBM SaaS」 (<http://www-03.ibm.com/software/sla/sladb.nsf/sla/dsp> で入手可能) および本項で規定される追加条件に従うものとします。IBM のデータ・セキュリティー・ポリシーに対するいかなる変更も「クラウド・サービス」のセキュリティーを低下させることはありません。

本「クラウド・サービス」は、「米国 - EU 間のセーフハーバー」の認証を受けています。

## 3. サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、「PoE」に記載するとおり、「クラウド・サービス」に関して、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。) を提供します。本「SLA」は保証ではなく、「イネープリング・ソフトウェア」に適用されません。「SLA」はお客様にのみ提供され、実稼働環境における使用に対してのみ適用されます。

### 3.1 可用性クレジット

お客様は、「クラウド・サービス」の可用性に影響を及ぼした事象について最初に知り得たときから 24 時間以内に、IBM テクニカル・サポート・ヘルプデスクに対して重要度 1 のサポート・チケットを記録しなければなりません。お客様は、あらゆる問題診断および解決に関して IBM を合理的な範囲で支援しなければなりません。

「SLA」の未達を申告するサポート・チケットは、契約月の末日から 3 営業日以内に提出しなければなりません。有効な「SLA」の申告に対する補償は、「クラウド・サービス」の実稼働システム処理が利用できない時間 (以下「ダウンタイム」といいます。) に基づいた「クラウド・サービス」の将来の請求に対するクレジットになります。「ダウンタイム」は、お客様が当該事象を報告した時点から「クラウド・サービス」が復元される時点までの間で計測され、次のものに関連する時間は含まれません。保守のための計画停止または発表された停止、IBM の支配の及ばない原因、お客様または第三者のコンテンツもしくはテクノロジーの問題または設計もしくは指示、サポート対象外のシステム構成およびプラットフォームまたはその他お客様による誤り、またはお客様に起因するセキュリティーに関する事故もしくはお客様によるセキュリティー・テスト。IBM は、下表のとおり、各契約月における「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。各契約月の補償の合計額は、「クラウド・サービス」に対する年額料金の 1/12 の 10% を超えないものとします。

### 3.2 サービス・レベル

「契約月」における「クラウド・サービス」の可用性

「契約月」における可用性	「可用性クレジット」 (申告の対象である「契約月」における 「月額サブスクリプション料金」* の割合)
99.8% 未満	2%
98.8% 未満	5%
95.0% 未満	10%

\* 「クラウド・サービス」が IBM ビジネス・パートナーから取得されたものである場合、月額サブスクリプション料金は、申告の対象である「契約月」に対して有効な「クラウド・サービス」のその時点での最新の表示価格に基づいて計算され、それを 50% 割引した額となります。IBM は、直接お客様に払い戻します。

「可用性」は、以下のとおり算出されます。契約月における分単位の総時間数から、契約月における「ダウンタイム」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。

例:「契約月」における「ダウンタイム」が 425 分である場合

30 日の「契約月」における合計 43,200 分 - 「ダウンタイム」 425 分 = 42,775 分 <hr style="width: 50%; margin: 0 auto;"/> 合計 43,200 分	= 「契約月」における 99.0% の可用性につき 2% の「可用性クレジット」
--	---

#### 4. テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」に対するテクニカル・サポートがチャット、電話および電子メールで提供されます。

IBM は、テクニカル・サポートの連絡先情報、その他情報およびプロセスを規定する IBM Software as a Service Support Handbook を提供します。

重要度	重要度の定義
1	お客様の全従業員の通常業務の実行を中断したり、妨げたりするサービスに関わる課題または問題。通常の業務に壊滅的な影響力を持つサービスに起因する問題。
2	お客様の大半の従業員の通常業務の実行を中断したり、妨げたりするサービスに関わる課題または問題。通常の業務に大きな影響力を持つサービスに起因する問題。
3	お客様のごく一部の従業員の通常業務の実行を中断したり、妨げたりするサービスに関わる課題または問題。通常の業務に著しい影響力を持つサービスに起因する問題。
4	お客様の個々のユーザーの通常業務の実行を中断したり、妨げたりするサービスに関わる課題または問題。通常の業務にわずかな影響力を持つサービスに起因する問題。

#### 5. エンタイトルメントおよび課金情報

##### 5.1 課金単位

「クラウド・サービス」は、「取引文書」に記載された課金単位に基づいて提供されます。

- a. **「許可ユーザー」**は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。お客様は、直接または間接を問わず何らかの方法により(例えば、多重化プログラム、デバイスまたはアプリケーション・サーバーを経由して)「クラウド・サービス」へのアクセスを与えられた特定の「許可ユーザー」ごとに、個別に専用のエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」へのアクセスを与えられた「許可ユーザー」の数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- b. **「ギガバイト」**は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「ギガバイト」とは、2 の 30 乗バイトのデータとして定義されます(1,073,741,824 バイト)。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」によって処理される「ギガバイト」の総数をカバーするのに十分なエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。
- c. **「マネージド・クライアント・デバイス」**は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「クライアント・デバイス」とは、単一ユーザーのコンピューティング・デバイス、または特定用途のセンサー・デバイスもしくは遠隔測定デバイスのうち、一般にサーバーと呼ばれる(あるいはサーバーで管理される)別のコンピューター・システムから、一連のコマンド、プロセス、もしくはアプリケーションを実行することを要求、それらを実行するために受領、またはかかるコンピューター・システムにデータを提供するものをいいます。複数の「クライアント・デバイス」で 1 つの共通サーバーへのアクセスを共用することができます。「クライアント・デバイス」は、ユーザーが作業を実施できるように、何らかの処理機能を有するか、プログラムで制御す

ることが可能な場合があります。お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」によって管理される「クライアント・デバイス」すべてに対して、「マネージド・クライアント・デバイス」のエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

- d. 「クライアント・デバイス」は、「クラウド・サービス」を取得する際の課金単位です。「クライアント・デバイス」とは、単一ユーザーのコンピューティング・デバイス、または特定用途のセンサー・デバイスもしくは遠隔測定デバイスのうち、一般にサーバーと呼ばれる（あるいはサーバーで管理される）別のコンピューター・システムから、一連のコマンド、プロシージャ、もしくはアプリケーションを実行することを要求、それらを実行するために受領、またはかかるコンピューター・システムにデータを提供するものをいいます。複数の「クライアント・デバイス」で1つの共通サーバーへのアクセスを共用することができます。「クライアント・デバイス」は、ユーザーが作業を実施できるように、何らかの処理機能を有するか、プログラムで制御することが可能な場合があります。お客様は、お客様の「PoE」または「取引文書」に定める課金期間中に「クラウド・サービス」を実行する、「クラウド・サービス」にデータを提供する、「クラウド・サービス」により提供されるサービスを利用する、または「クラウド・サービス」にアクセスするすべての「クライアント・デバイス」に対してエンタイトルメントを取得しなければならないものとします。

## 5.2 1か月に満たない期間の料金

「取引文書」に記載された1か月に満たない期間の料金は、按分にて算定される場合があります。

## 5.3 超過料金

課金期間中の「クラウド・サービス」の実際の利用が、「PoE」に記載されたエンタイトルメントの範囲を超える場合には、お客様は、「取引文書」の記載に従い、その超過分について請求されます。

## 6. 期間および更新オプション

「クラウド・サービス」の期間は、「PoE」に記述されるとおり、「クラウド・サービス」へのお客様のアクセスについて、IBMがお客様に通知した日に開始します。「PoE」には、「クラウド・サービス」が自動的に更新されるか、継続利用ベースで続行されるか、期間満了時に終了するかが記載されます。

### 6.1 自動更新

自動更新の場合には、お客様が期間満了日の90日前までに書面により更新しないことを通知する場合を除き、「クラウド・サービス」は、「PoE」に定める期間につき自動更新されます。

更新使用許諾量は、当初の注文量または更新請求が行われる前月の月次報告利用量のうちいずれが多いほうと同じです。ただし、IBMが異なる使用許諾量を指定する通知書を受領した場合はこの限りではありません。

「Step up」オフリングのための更新使用許諾量は、当初の注文量と同じとします。

### 6.2 請求の継続

継続利用の場合は、「クラウド・サービス」は、お客様が90日前までに書面により終了を通知するまで、月単位で継続利用することができます。「クラウド・サービス」は、かかる90日の期間後の暦月末日まで引き続き利用することができます。

## 7. イネープリング・ソフトウェア

本「クラウド・サービス」には、「クラウド・サービス」期間にわたって、「クラウド・サービス」のお客様による使用に関連してのみ使用することのできるイネープリング・ソフトウェアが含まれます。

## 8. 追加情報

### 8.1 Step up 制限

「Step up for existing Customers」として指定される「クラウド・サービス」オフリング（以下「Step up SaaS」といいます。）の場合、お客様は「Step up SaaS」オフリングの名前で特定される関連IBMプログラムの適切なライセンス資格を予め取得しているかまたは同時に取得している必要があります。例えば、「IBM MobileFirst Protect - Devices (SaaS) - Step up for existing customers」を購入するお客様は、IBM MobileFirst Protectの関連IBMプログラムのライセンス資格を取得している必要があります。「Step up



SaaS」に対するお客様の使用許諾は、関連 IBM プログラムに対するお客様の使用許諾範囲を超えることはできません。

「Step up SaaS」を取得する場合、お客様は「Step up SaaS」の使用許諾による場合と同様に、上記の関連 IBM プログラムのライセンス資格をお客様のオンプレミスの導入済み環境内で使用することはできません。例えば、関連する IBM プログラムに対して、お客様が 250 の「マネージド・クライアント・デバイス」の使用権を取得しており、100 の「Step up SaaS マネージド・クライアント・デバイス」の使用権を購入することを選択する場合、お客様は「クラウド・サービス」環境で 100 の「Step up SaaS マネージド・クライアント・デバイス」を管理し、オンプレミスに導入されたソフトウェアで 150 の「マネージド・クライアント・デバイス」を管理することができます。

お客様は、関連 IBM プログラムに対する適用可能な (1) ライセンス資格および (2) サブスクリプション & サポートを予め取得していることを表明するものとします。「Step up SaaS」のサブスクリプション期間中、お客様は「Step up SaaS」の使用許諾と併せて使用する IBM プログラム使用許諾の最新のサブスクリプション & サポートを維持する必要があります。関連 IBM プログラムを使用するためのお客様のライセンス、または関連 IBM プログラムのお客様のサブスクリプション & サポートのいずれかが終了した場合、お客様の「Step up SaaS」を使用する権利は終了します。

## 8.2 Cookie

お客様は、IBM が、利用統計データと情報(ユーザー・エクスペリエンスの改良に役立てること、およびユーザーとの間の対話をカスタマイズすること、またはそのいずれかを目的とした)を収集する際に、<http://www-01.ibm.com/software/info/product-privacy/index.html> に従って、個人を特定できる情報を収集するために、Cookie および追跡技術を使用できることに同意するものとします。

## 8.3 個人医療情報取り扱いの禁止

「クラウド・サービス」は、HIPAA に準拠するよう設計されていないため、「個人医療情報」の送信や保管に使用することはできません。

## 8.4 規範的データ

別段の定めがある場合でも、規範的な調査、分析、デモンストレーションおよび報告の目的に限り、IBM は、集約された匿名形式(すなわち、お客様またはお客様の許可ユーザーをデータの供給源として特定できない形式、およびお客様またはお客様の許可ユーザーを特定できる個人識別情報が削除される形式)で、「クラウド・サービス」に関するお客様の許可ユーザーの個々のエクスペリエンスを反映したデータを保持および使用することができます。

## 8.5 合法的使用および同意

### 8.5.1 データの収集および処理の承認

「クラウド・サービス」は、モバイル・デバイスのプロビジョニング、管理、モニタリング、制御を行うように設計されています。「クラウド・サービス」は、お客様がサブスクライブした「クラウド・サービス」と相互に作用することをお客様が許可したユーザーおよびデバイスから情報を収集します。

「クラウド・サービス」は、一部の国または地域において、単独で、または組み合わせにより、「個人情報」とみなされる可能性がある情報を収集します。収集するデータには、許可ユーザーの氏名、電話番号、登録電子メール・アドレスおよびデバイスの所在地、ユーザー ID および MaaS360 ブラウザーからのブラウジング履歴、エンド・ユーザー・デバイス・ハードウェアに関する情報、ソフトウェアおよび設定、ならびにデバイスによって生成される情報が含まれる場合があります。お客様は、本「サービス記述書」の規定に従って、かかる情報を収集、処理、使用する権限を IBM に付与します。

### 8.5.2 データ主体のインフォームド・コンセント

「クラウド・サービス」の利用は、さまざまな法規制に関係する場合があります。「クラウド・サービス」は、合法的目的かつ合法的方法による場合のみ利用可能です。お客様は、該当する法規、および方針に従って、「クラウド・サービス」を利用し、それらを遵守することについての一切の責任を負うことに同意するものとします。

お客様は、「IBM クラウド・サービス」の合法的利用、および「クラウド・サービス」を介した、お客様のデータ処理担当者としての IBM による情報の収集と処理を可能にするために必要な、十分なインフォームド・コンセント、許可、または使用権を既に取得しているか、または取得することに同意する

ものとし、お客様は、「クラウド・サービス」の合法的な利用、および、ソフトウェア使用許諾契約 (<http://www.ibm.com/software/sla/sladb.nsf> で入手可能) に記載された情報の収集と処理を可能にするために必要とされる十分なインフォームド・コンセントを取得する権限を IBM に付与するものとし、

## 8.6 データの保存

IBM は、収集されたすべての情報（「個人情報」が含まれる場合があります）を本「サービス記述書」の満了または終了に伴い削除します。ただし、上記に記載の目的または適用される法規もしくは規制に従って保持する必要がある情報を除きます。この場合、IBM は、かかる目的、適用される法規または規制によって義務付けられる期間中、収集された情報を保持します。

## 8.7 データ・プライバシー

### 8.7.1 海外への移転

お客様が EU 加盟国、アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェーまたはスイス、トルコ、およびデータ・プライバシーまたはデータ保護に関する法律を制定しているその他のヨーロッパの国において、「個人情報」を「IBM クラウド・サービス」に提供する場合、欧州経済地域以外の以下の国および欧州委員会により十分なレベルのセキュリティを実現しているとみなされる国のプロセッサおよびサブプロセッサに対し、IBM が関連法規および要件に基づいて、個人データを含む「コンテンツ」を国境を越えて処理できることに同意します。

プロセッサまたはサブプロセッサの名称	ロール (データ・プロセッサまたはサブプロセッサ)	所在地
IBM Corporation	サブプロセッサ	1 New Orchard Rd. Armonk, NY 10504, USA I
IBM India Private Limited	サブプロセッサ	No. 12, Subramanya Arcade Bannerghatta Road, Bangalore 560029 India

お客様は、IBM が、「クラウド・サービス」の提供のために必要であると合理的に判断した場合には、通知をもって、この国一覧を変更できることに同意するものとし、

### 8.7.2 EU のデータ・プライバシー

お客様が EU 加盟国、アイスランド、リヒテンシュタイン、ノルウェー、またはスイス、トルコ、およびデータ・プライバシーまたはデータ保護に関する法律を制定しているその他のヨーロッパの国において、「個人データ」を「IBM クラウド・サービス」に提供する場合、またはお客様がそれらの国に許可ユーザーもしくはデバイスを擁している場合は、お客様は、唯一のコントローラーとして、「個人情報」を処理するプロセッサ（かかる用語は、EU 指令 95/46/EC で定義されています。）に IBM を指名するものとし、IBM は、IBM の公表した「IBM クラウド・サービス」説明書に従って「IBM クラウド・サービス」オフリングを提供するために必要な範囲でのみ、かかる「個人情報」を処理するものとし、お客様は、かかる処理がすべてお客様の指示に従っていることに同意するものとし、

## 8.8 セキュリティ・データ

報告作業を含む「クラウド・サービス」サービスの一部として、IBM は、「クラウド・サービス」から収集された情報を匿名化または集約したものを準備し、維持管理します（以下「セキュリティ・データ」といいます）。「セキュリティ・データ」では、下記 (d) に定めるものを除いて、お客様も個人も特定することはありません。お客様は本書において、以下のみを目的として IBM が「セキュリティ・データ」を使用またはコピーできることにさらに同意します。

- 「セキュリティ・データ」の公表または配布（サイバー・セキュリティに関連する集計または分析など）
- 製品やサービスの開発または拡張
- 社内で、または第三者と共に実施する調査
- 確認済みの第三者の攻撃者情報の合法的な共有